

国際化プログラムのご紹介

国際化について

学習院大学経済学部長 金田 直之

国際化というと、20代のころに海外に渡った時のことや、留学した時のことを思い出します。初めて外国で生活すると、戸惑うことも多いですが、日本にいた時とは別の視点を持つことができたり、海外の人の見方を学んだりすることができます。また、異なった言語には表現の癖のようなものがあり、その言語を使用している時に無意識に自分の思考に影響を与えていると感じられることもあります。自らの育った環境を抜け出し、異なった文化に触れることは、多様性（ダイバーシティ）の重要性が指摘される現代においては、ものの見方や考え方にも影響を与え、貴重な体験になる可能性が大きいです。

本学においても国際交流センターを中心に、海外への留学の支援を行ったり、留学生を受けいれたりするなど、国際的な研究・教育の支援を行っています。経済学部においても、独自にバラエティに富んだプログラムや制度を用意しています。語学の授業とは別に専門的な内容について英語をはじめとする外国語で教える科目を提供し、通常の授業とは別に夜間や休業期間中に集中的に英会話を学ぶことができるプログラムを用意しています。また、夏季休業期間などに海外の語学学校で学ぶ学生に向けて奨学金を支給する仕組みや、海外ゼミ合宿の費用を一部補助する制度もあります。一旦社会に出てしまえば、時間的にも制約が増えて、自らの負担で学ばざるを得ないことも多いと思います。学生時代のうちにこうした機会を活用するのも将来の可能性を増やすことにつながるでしょう。こうしたプログラムや制度を活用して、皆さんの学生生活を一層充実したものにしていただければと考えています。

入学したばかりの時や、新年度が始まった時期はガイダンスや授業の履修登録に時間をとられ、こうしたプログラムについてよく知る機会のないまま時間が過ぎることもあると思います。ガイダンスの合間や通学のすき間を使ってこうした制度・プログラムの概要を把握し、年間の予定に組み込んではいかがでしょうか。皆さんの理解を深めるために、この小冊子を役立てていただければ幸いです。合わせて、G-Portでもご案内している「国際化プログラムガイダンス動画」を視聴していただくと、より理解が深まると思います。

外国語習得のための取り組み 概要：

- 1 外国語で行われる専門授業の設置
- 2 英語集中プログラム
- 3 英語イブニングプログラム
- 4 TOEIC 支援プログラム
- 5 ゼミ海外研修合宿補助制度
- 6 海外短期英語研修奨学金制度





学習院大学経済学部では、外国語の習得のため、以下のプログラムを設けております。

(1) 外国語で行われる専門授業の設置

経済学部では、選択必修科目として外国語で講義を行う専門的な科目を設置しています。

…掲載ページ p.3

(2) 英語集中プログラム

国内で著名な複数の英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、夏季休業・春季休業の期間、大学キャンパスにて英会話の講座を開催しています。

…掲載ページ p.4

(3) 英語イブニングプログラム

国内で著名な複数の英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、週1回 大学キャンパスにて英会話の講座を開催しています。

…掲載ページ p.5

(4) TOEIC 支援プログラム

TOEIC IPのオンライン試験を年2回実施しています。また、TOEIC 公式eラーニングの受講も支援しています。

…掲載ページ p.6

(5) ゼミ海外研修合宿補助制度

ゼミ海外研修合宿の費用を学部より一部補助することで、学生の負担を軽減しています。

…掲載ページ p.7-10

(6) 海外短期英語研修奨学金制度

夏季休業を利用し、海外大学付属またはそれに準じる語学学校の英語語学研修に参加した学生に、奨学金を支給する制度です。

…掲載ページ p.11



経済学部の国際交流プログラムの詳細は、学部HPにも掲載しておりますので、QRコードを読み取ってご覧ください。また、各プログラムの案内は、随時東2号館の掲示板やG-Portにてお知らせいたします。

(1) 外国語で行われる専門授業の設置

経済学科・経営学科ともに外国語専門科目を選択必修科目として設置しております。

国際化時代に対応して「英語で学ぶ経済学」では、実際に国際社会で働いた経験があるネイティブ講師などが、英語で授業を行い、少人数クラスで様々な経済経営問題を議論します。

さらに、「外国書講読」では、外国語で書かれた教科書や論文を通して経済学・経営学を学び、専門性の高い外国語読解能力を身につけることができます。

これらの科目はその重要性から両学科において選択必修科目として位置づけられています。

【参考】2025年度 経済学部共通 開講科目・担当一覧

- | | |
|--|--------------|
| ・英語で学ぶ経済学（マクロ経済学入門） | K. ジョンストン 講師 |
| ・英語で学ぶ経済学（ミクロ経済学入門） | K. ジョンストン 講師 |
| ・英語で学ぶ経済学（Thinking Critically about Micro and Macro Topics（Ⅰ）） | P. コンサルヴィ 講師 |
| ・英語で学ぶ経済学（Thinking Critically about Micro and Macro Topics（Ⅱ）） | P. コンサルヴィ 講師 |

【参考】2025年度 外国書を用いた授業

- | | |
|------------------------|-----------|
| ・外国書講読（計量経済学入門） | 赤司 健太郎 教授 |
| ・外国書講読（行動経済学） | 萱場 豊 教授 |
| ・外国書講読（コミュニティをつくる経済思想） | 眞嶋 史叙 教授 |
| ・外国書講読（公共的問題の経済学） | 三井 清 教授 |
| ・外国書講読（ゲーム理論の観点） | 和光 純 教授 |

経済・経営に関する時事問題などについて外国語で学べるため、就職活動等にも役立ちます。



(2) 英語集中プログラム

著名な英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、夏季・春季休業期間に、キャンパスにて英会話の集中講座を実施しています。

期 間：5時間×4日間 計20時間

場 所：大学キャンパス内の教室

費 用：3,000円

クラス：中級クラスのみ、定員15名の少人数制、講師は全員ネイティブです。

対 象：全学部生および院生

	ベルリッツ	ブリティッシュ・カウンシル
学習内容	ベルリッツが大学生向けに開発したオリジナル教材『Berlitz English for University Students』を使用しながら、具体的で実践的なスピーキング演習を行うことによって、英語コミュニケーションスキルの基盤を確立します。	English for International Communication 日常英会話に加えてディスカッションにも取り組み、アカデミックな内容を英語で議論できるようになることを目指します。興味深いトピックス（例：AI、ソーシャルメディア、大学入試など）を取り上げ、データの説明の仕方、意見の述べ方、比較などディスカッションに欠かせないスキルを学べるよう練習を重ねます。
学習形態	外国人教師によるオールイングリッシュのレッスンで、英語で考えてアウトプットを行うトレーニングを行います。レッスンはスピーキングとリスニングを中心とした演習形式で、ロールプレイやグループワーク、ペアアクティビティによって、受講生が実際に「話す」時間を最大限確保します。単語だけではなく、会話はフルセンテンスで詳しく話すことを徹底し、文法や必要な表現は会話の中で自然に身につけます。	レッスンではコミュニケーションを重視し、ペアやグループワークなど少人数でのアクティビティをたくさん行います。「Learning through doing」「実際にやってみて学ぶ手法」を用いるため、受講者はアクティビティを通して、より高い実践的なスキルを身につけることができます。
到達目標	大学生生活において日常的に発生する様々なシチュエーションでのコミュニケーションを、自信を持ってできるようになることを目指します。	コミュニケーションスキルを向上させ、自分の意見や考えを英語で表現できるようになることを目標とします。英語教授資格を持った講師によるオールイングリッシュのレッスンを通して、間違いを恐れることなく、積極的に英語を話すスキルも習得します。
英語推奨レベル	英検準2級～2級、TOEIC405～600程度	英検2級以上、TOEIC550～

・受講者の感想

ベルリッツ

「内容が今後の人生でいつか使えるフレーズだったので、身近に感じられた。また、少人数クラスのため、たくさん話すことができた。」

「かなり長時間英語漬けで、ものすごく疲れたが、その分達成感が大きかった。まだ海外留学する予定はないが、今回のプログラムを通して、ぜひ行ってみたいという気持ちが強くなった。また、リスニング力が強化されたため、TOEICの対策にもなったと感じる。」

ブリティッシュ・カウンシル

「少人数で、多くのディスカッションができたので、英語をたくさん話すことができた。」

「スピーキング力の向上に最適だった。易しい難易度ではなかったが、先生の説明も非常に分かりやすく、少人数であるため質問や発言がしやすい雰囲気だった。」

(3) 英語イブニングプログラム

著名な英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、週に1回、キャンパスにて英会話講座を実施しています。

期 間：1 時間 30 分×8 回 計 12 時間

場 所：大学キャンパス内の教室

費用：3,000 円

クラス：初中級クラス・中上級クラス、定員15名の少人数制、講師は全員ネイティブです。

対 象：経済学部生および院生

	ベルリッツ	ブリティッシュ・カウンシル
学習内容	(初中級) 英会話初心者の方が安心して学習できる会話中心のレッスンです。英語コミュニケーションスキルの基盤を確立し、同時に自信を持って対応できるようになるテクニックを体得します。 (中上級) ビジネス会話を中心に、英語でのプレゼンテーションやディスカッションなどの個別スキルも体系的に習得します。	英語教授資格を持った講師によるブリティッシュ・カウンシルのレッスンでは、英語を話すことに慣れたい、基本単語は分かるけれどもすぐに出てこないという方も丁寧に指導いたします。身近に関連するトピック（例：大学の専攻や趣味について、人や物について描写する、SNS を使ったコミュニケーションなど）を取り入れたオリジナルの教材から、日常でよく使われる語彙やフレーズを学びます。
学習形態	(初中級) 留学などで使える日常会話を学びます。積極的に話すスキルを身につけ、効果的なコミュニケーションができるようになることを目指します。 (中上級) 様々なビジネスシーンや面接などで使える英語力を身につけます。	積極的に英語が話せるようになるために、レッスンには日常生活で起こりうる様々な場面を想定した内容が組み込まれています。英語のスキルを向上させ、自分の感情や意見を表現する方法を学び、よりスムーズにコミュニケーションが取れるようになることを目指します。
到達目標	外国人教師によるオールイングリッシュのレッスンで、英語で考えてアウトプットを行うトレーニングを行います。レッスンはスピーキングとリスニングを中心とした演習形式で、ロールプレイやグループワーク、ペアアクティビティによって、受講生が実際に「話す」時間を最大限確保します。単語だけではなく、会話はフルセンテンスで詳しく話すことを徹底し、文法や必要な表現は会話の中で自然に身につけます。	コミュニケーションを重視したレッスンでは、「Learning through doing」実際にやってみて学ぶ手法を用い、インプットとアウトプットを繰り返し行います。ペアやグループでのアクティビティを通して、学んだ語彙やフレーズの練習を重ねることで、実践的な英語力を身につけることができます。
英語推奨レベル	(初中級) 英検準2～2級程度、TOEIC400～500 (中上級) 英検2級以上、TOEIC550	英検準2級～2級程度、TOEIC400～500

【告知ポスター】





(4) TOEIC 支援プログラム

TOEIC IP 受験支援プログラムおよびTOEIC 公式eラーニング受講支援プログラムを実施しています。

TOEIC IP 受験支援プログラム

経済学部では、経済学部生・院生を対象に TOEIC IP 受験を実施しています。この試験は年 2 回 (6 月と 11 月) オンライン形式で行われ、評価がフィードバックされます。

通常、TOEIC IP の受験料は 3,130 円 (税込・賛助価格) ですが、経済学部が一部支援するため、学生は 1,000 円で受験することができます。是非この機会を利用して、TOEIC のテスト形式に慣れ、今後の英語学習に役立てることをお勧めします。

TOEIC IP テストとは？

企業・学校・団体等の要請に応じて、随時受験できる団体特別受験制度 (Institutional Program) です。「TOEIC IP のスコア」として履歴書等に記載することができます。

※企業や大学によっては、TOEIC 公開テストで得られる公式認定証のみが有効とされる場合があります。

TOEIC IP を受験した学生の感想

「安い価格で TOEIC 試験の練習が出来て良い。」

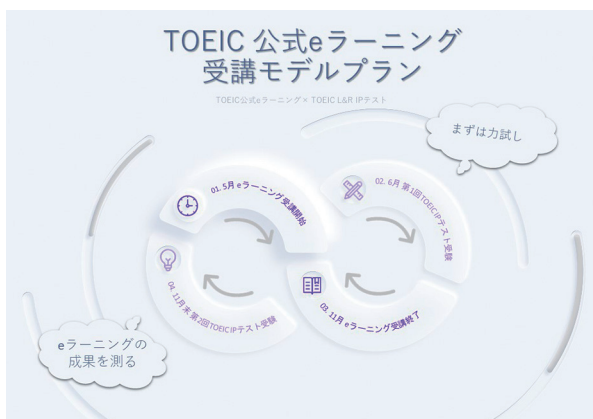
「受験料 1,000 円という手軽さにとても助けられた。」

「継続的に受験すると良いペースメーカーになる。」

「自主的に英語を勉強するきっかけになった。」

TOEIC 公式eラーニング受講支援プログラム

ETS (TOEIC テスト開発機関) が本番のテスト制作と同じプロセスで作った良質な問題で、ビジネスや日常の場面に直結した、実践的な英語力を磨くことができます。通常の受講料は 30,800 円 (税込・賛助価格) ですが、経済学部が一部支援するため、学生は 8,000 円で受講することができます。TOEIC IP テストや TOEIC 公開テストに向けて受講することをお勧めします。



(5) ゼミ海外研修合宿補助制度

海外で行われるゼミ研修合宿の費用を、経済学部が一部補助することで学生の負担を軽減しています。例年、この制度を利用して、多くのゼミが海外で合宿を行っています。

※ゼミ国内研修合宿にも学生向けに補助金が支給されます。

・経済学部ゼミ海外研修合宿 実績(2019年度～2024年度12月時点)

2024年度(2024年12月時点)

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経営学科 竹内倫和ゼミ	香港	2024年10月16日～18日(3日間)
経済学科 眞嶋ゼミ	マレーシア(ボルネオ研修)	2024年9月11日～22日(12日間)
経済学科 増田ゼミ	ベトナム	2024年8月29日～31日(3日間)

2023年度

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経営学科 佐々木ゼミ	インドネシア	2024年2月26日～3月2日(6日間)
経営学科 竹内倫和ゼミ	台湾	2023年10月12日～14日(3日間)
経済学科 眞嶋ゼミ	マレーシア(ボルネオ研修)	2023年8月21日～9月7日(18日間)
経済学科 増田ゼミ	インドネシア	2024年2月25日～3月1日(6日間)
経済学科 棕ゼミ	台湾	2024年3月5日～8日(4日間)
経営学科 米山ゼミ	台湾	2023年12月15日～18日(4日間)
経営学科 渡邊ゼミ	中国	2024年3月2日～6日(5日間)

2019年度

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経済学科 石井ゼミ	台湾	2019年9月3日～5日(3日間)
経済学科 神戸ゼミ	台湾	2020年2月1日～3日(3日間)
経済学科 鈴木ゼミ	台湾	2019年12月25日～28日(4日間)
経済学科 高橋ゼミ	韓国	2019年11月16日～18日(3日間)
経済学科 細野ゼミ	台湾	2019年11月22日～24日(3日間)
経済学科 棕ゼミ	台湾	2019年9月8日～10日(3日間)
経済学科 棕ゼミ	オーストリア・スロバキア	2020年1月31日～2月4日(5日間)
経営学科 米山ゼミ	グアム	2020年3月13日～16日(4日間)
経済学科 脇坂ゼミ	韓国	2019年11月29日～12月1日(3日間)
経営学科 渡邊ゼミ	中国	2019年9月1日～5日(5日間)



・ゼミ海外研修合宿内容

【参考】2024年度 経済学科 増田ゼミ

実施国	ベトナム
実施期間	2024年8月29日～31日(3日間)
参加学生	4年生3名、3年生12名
目的	途上国における研究を進めるにあたり、現地の人々の暮らしを理解するため。
内容	ホーチミン市、および、ハノイ市内にて、市内の市場や、博物館等を訪問した。
成果	特に3年生は、その後12月までにベトナムを文脈とした研究テーマで、データを扱う研究を進行させたが、研修をきっかけに研究の着想を得て、背景を理解したうえで、研究を進めることが出来た。



【参考】2023年度 経営学科 佐々木ゼミ

実施国	インドネシア
実施期間	2024年2月26日～3月2日(6日間)
参加学生	4年生2名、2年生5名
目的	バンドン工科大学との交流
内容	バンドン工科大学ビジネススクールを訪問し、研究セミナーを実施したほか、教員・学生らとの交流、現地のスタートアップ企業見学、伝統文化体験(民族楽器の演奏、パティック作り)などを行なった。
成果	現地の人々との交流を通じて、経済成長を続ける新興国インドネシアの勢いを肌で感じ、同国の社会・文化について見聞を広めることができた。



【参考】2023年度 経済学科 棕ゼミ

実施国	台湾
実施期間	2024年3月5日～8日(4日間)
参加学生	2年生13名
目的	現地研究者との交流、サービス業を中心とした現地調査、およびグループ論文に向けた中間報告
内容	台北を訪問し、国立中央大学のChih-Hai Yang教授、本学の協定校でもある淡江大学のKuo-Feng Kao教授と会合・会食し考えているテーマについてアドバイスをいただいた。また、外食やコンビニ、交通などのサービス業についての日本との価格差の実態を調査した。さらに、淡江大学のキャンパスにてゼミを実施し、班ごとに興味を持っているテーマと考えられる分析について報告を行った。
成果	Yang教授とKao教授からのアドバイス、および現地調査に基づき、各班が分析に取り組むテーマを発見することができた。その後、3年生になってからゼミ論文を執筆し、大規模な論文報告大会や他大学とのインターゼミに、および学会における学生報告会にて報告し、一部の班は賞を得ることができた。



【参考】2023年度 経営学科 渡邊ゼミ

実施国	中国(香港、深圳)
実施期間	2024年3月2日～6日(5日間)
参加学生	4年生2名、3年生6名、2年生14名
目的	デジタル化の最先端を体験する。
内容	デジタル化をめぐる企業戦略を学ぶというテーマで渡邊ゼミは活動をしている。その一環として、中国深圳で、企業訪問をして企業の経営戦略に関する講義を受けたあと、試験区での自動運転の体験および商業化された自動運転タクシーの乗車体験を行った。その他、中国最大のEMS企業のひとつを訪問したうえで、深圳市のベンチャー企業戦略についてのヒアリングを行った。
成果	中国企業の経営戦略について、具体的に説明を受け、ディスカッションを行った。また、工場見学、自動運転体験を通じて、戦略を具体的にどのように展開しているのか、について体感することができた。





【参考】2023年度 経営学科 米山ゼミ

実施国	台湾（台北）
実施期間	2023年12月15日～18日（4日間）
参加学生	4年生6名、3年生19名、2年生3名
目的	台湾・元智大学との合同セミナーへの参加
内容	Sustainable & Innovationという統一テーマの下、台湾及び日本の学生（日本からは学習院のほか慶應の学生も参加）からなるグループで、リサイクル及びアップサイクルに取り組む企業事例を整理し、そこから得られた知見に基づいて台湾のコスメティック企業であるO'right社の経営陣への戦略提案を行った（グループ討議、発表および質疑応答はすべて英語で行われた）。また、最終日には同社を訪問し、実際の取り組みに関する説明を受けた。
成果	6つのグループ別に討議の結果を取りまとめて発表し、O'right社の経営陣及び3大学の教授陣からの評価に基づき最優秀発表賞等が決定された。最優秀発表賞には、学習院の3名の学生も含まれた。なお、この発表会等の様子は、台湾の新聞「経済日報」に掲載された。また、懇親会を通じて日台学生同士の交流を深めることができた。 (台湾の新聞「経済日報」記事はQRコードより閲覧できます。)



(6) 海外短期英語研修奨学金制度

経済学部生・院生を対象とした奨学金制度です。夏季休業を利用して、海外大学付属またはそれに準じる語学学校の英語語学研修に参加し、有意義な成果を収めた学生に、奨学金を支給しています。

【参考】2024年度 海外短期英語研修奨学金 募集要項

1. 趣旨

学習院大学経済学部では、夏季休業中に海外で英語語学研修を行い、有意義な成果を収めた学生を経済的に支援するため、海外短期英語研修奨学金を支給する。

2. 応募資格

- ① 本学経済学部又は大学院経済学研究科又は経営学研究科の正規の課程に在籍する者。
(科目等履修生、委託生、研究生、協定留学生を除く)
- ② 夏季休業を利用して、海外の大学付属またはそれに準じる語学学校で、少なくとも、正味10日以上の英語語学研修に参加した者。期間内の学校休日等は含まない。
- ③ 過去に本学内外で奨学金を得ていた場合においても、申請可能である。但し、同一研修に対して、本学内外の奨学金を受給した場合は、本学内外の奨学金の受給規定に従う。
- ④ 応募人数が多い場合、成績などを考慮し、採用者を決定する。

※ 語学研修の開講期間は、学年暦に定める夏季休業期間であること。原則として、第2学期授業日および第1学期期末試験期間などが、語学研修期間及びそのための海外渡航期間に重なっている場合、申請を認めない。但し、語学研修のための海外渡航期間中に、履修している科目が無いことを証明する書類(時間割など)を提出した場合には、この申請を許可する。

※ 語学研修先は自分の国籍国以外であること。但し、経済学部長が認めたものは除く。

3. 支給内容

- ① 採用予定人数：最大20名程
- ② 奨学金額：1人当たり 10万円を支給

【参考】2019年度～2024年度 受給者の研修先
アイルランド、アメリカ、イギリス、エストニア、
オーストラリア、カナダ、フィリピン

※ 2020・2021年度は実施を見送りました。

【告知ポスター】



